

「スマホが好き」をボランティアに！

スマホサポーター研修会 in 福崎

スマホが視覚障がい者の「新しい世界」を広げる

スマホが「目」になる

視覚障がいのある方は、画面の情報を音声で読み上げる機能（アイホンでは「ボイスオーバー」と言う）を使ってスマホを操作します。文字読み取りアプリで封筒の差出人を特定したり、歩行補助アプリで安全に移動したり、スマホはくらしに欠かせない「目」となっています。

しかし、音声読み上げ機能の操作をサポートできる人は、圧倒的に不足しています。私たちは、兵庫県下で500人のサポーターを育成し、どこに住んでいてもサポートが受けられる環境を目指しています。

高度な技術は必要ありません。あなたの「スマホが好き」という気持ちを、ボランティアとして活かしてみませんか？

研修会スケジュール（全2回）

日時： 研修1 7月13日（月）10:00～12:30
研修2 8月3日（月）10:00～12:30

会場： 福崎町コミュニティセンター サルビア会館
神崎郡福崎町西田原1397-1

内容：

研修1（基礎編）：読み上げ機能（ボイスオーバー）の基本操作実習
研修2（活用編）：読み上げ機能の便利な使い方と便利アプリ体験

主催： 姫路デジタルサポート（ボランティア団体）

共催： 福崎町社会福祉協議会



サポーター研修会の様子

募集要項

対象： 視覚障がい者を対象のスマホサポートを始めたい晴眼者。
高度なスキルは不要です。

定員： 10名（先着順）

持ち物： アイホンをご持参ください。（アイホンの貸し出しも可）

参加費： 無料



2本指で操作している様子

お申込み・お問合せ

姫路デジタルサポート（担当：栗川）

電話： 090-1182-8400

メール： info-2@digital-society.org

締切： 7月11日（土）

フォーム： 右のQRコードから申込み

申込時には、①お名前、②電話番号、
③メールアドレス、④研修会場をお知らせください。



どうやって使うの？

画面を見ずに操作する「ボイスオーバー」。例えば、1本指で左右にスワイプ（画面を払うように指を動かす）して項目を移動し、ダブルタップで決定します。研修では、サポーター自身がこのジェスチャーを体験し、操作のコツを学びます。



「ボイスオーバーを初めて使う方へ」のページ

活躍の場は？

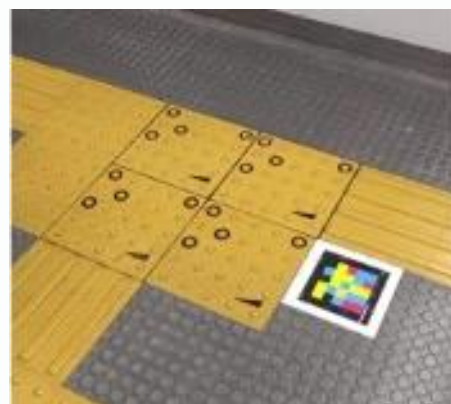
研修修了後は、尼崎・明石・高砂・西脇・福崎・姫路の各地域で開催されるスマホ教室で、ボランティアとして活動いただけます。まずは、定期的に行っているスマホ教室の見学から始めてみませんか？

スマホを使って、文書を読み上げている。



当事者の声が届いています

- ・封筒の差出人や文書を読み上げるアプリは、私にとって手放せない「目」です。
- ・点字が苦手ですが、カレンダーアプリで通院日を音声管理できるようになり、重宝しています。
- ・写真は無縁だと思っていましたが、風景を説明してくれるアプリのおかげで、最近は花の写真を撮るのが楽しみです。
- ・洗濯物を取り込むタイミングやゴミ出しの通知など、生活の安心感が格段に上がりました。



歩行支援システム（コード化点字ブロックとNaviLensのコード）

サポーターの役割

スマホ教室では、マンツーマンで学習者に操作のアドバイスをを行います。

操作を代わりに行うのではなく、「ボタンはもう少し進むとありますよ」「ページの移動は、3本指で左スワイプですよ」などと、ご自身で操作できるようサポートするのが基本です。



講習会の様子：サポーターがマンツーマンでサポートしている。

姫路デジタルサポート

高砂視覚障がい者スマホとデジタル推進の会／福崎視覚障がい者のためのスマホの会

私たちは、兵庫県はりま地域を中心に、視覚障がい者向けの講習会などを定期的に行っているほか、フォーラムなどのイベントを開催し、視覚障がい者のスマホ普及活動を行なっています。



ホームページへ